



【卒業生へ送るはなむけの言葉として】

校長 佐伯 英徳

(令和3年度第42回卒業式学校長式辞より抜粋)

85名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。先ほど、皆さん一人一人に卒業証書を手渡すことができました。その際、マスク越しではありましたが、皆さんのキラリと光る真剣な眼差しを見ることができて感激しています。

平成31年4月、皆さんが狛江四中に入学してから今日まで、たくさんの人たちが皆さんの成長を応援してきました。その中で、1年生の終わりの令和2年3月2日から学校が突然、休校となり、生活は一変し、皆さんの活躍の場がことごとく奪われていきました。昨年の5月17日、皆さんに修学旅行の中止を伝えた日のことは、今でも鮮明に覚えています。

そんな辛い状況の中にあっても皆さんは「与えられた時間を楽しもう」という前向きさを様々な場所で発揮しました。規模を縮小して実施した体育祭や合唱祭では、見事に1、2年生をリードしてくれました。流石は四中生、実に頼もしかったです。

ここで、皆さんの輝かしい門出にあたり、「夢をもつこと」についての話をします。

昨年の11月から、校長室で、皆さんと校長面接を行いました。その際、「高校卒業後の進路、将来の夢について話してください」という質問を全員にしました。「高校卒業後は大学に進学して美術を学び絵に関係する仕事につきたいと思っています」「子どもの気持ちに寄り添える保育士になります」「演劇を学んで声優になります」「社会科か英語科の先生になりたい」「夢はJリーガーです」等、明確に答えられた人がたくさんいました。中には「まだ夢はないので高校3年間で見つけます」と答えた人もいましたが、「漠然としたものでもいいので、今、考えていることを話してください」と切り返すと、「まだ、はっきりと決まっていませんが」と言いながら、「介護や福祉など、何か社会に貢献できる仕事ができれば」とか、「コンピュータ関係の仕事がしたい」、「絵とか物づくりに関わりたい」「福祉の仕事に興味があります」「大学で心理学を学びたい」などと、実はいろいろなことを考えていて、その思いを自分の言葉で語ってくれました。

今は漠然とした夢でも、実現したいと本気で考えていくうちに、進むべき道筋が少しでも見えてくれば、夢は目標に変わります。大切なことは、今、どうしたいかを一生懸命に考えて、できることから行動に移すことだと思います。コロナ禍の中、将来への希望を見出すことは簡単なことではないかもしれませんが、最初から大きな夢をもたなくても、小さなことを日々積み重ねることで、将来の自分の姿、夢や希望が少しずつ見えてくるのではないのでしょうか。皆さん一人ひとりがかけがえのない存在としてこの社会に立ち、21世紀の日本をたくましく生き抜くことを願うとともに、夢の実現に向けて前向きに取り組んでいく、皆さんの3年後、5年後、7年後の成長した姿を思い描きながら、この「夢をもつこと」の話を贈ります。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。立派に9年間の義務教育を終えた、お子様の新たな門出に対しまして、心よりお祝い申し上げます。また、この3年間、PTA活動や学年・学級の諸活動を通してお寄せくださいました本校へのご理解とご協力に対しまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。結びに卒業生85名全員の輝かしき前途を祈念して式辞といたします。4月の行事予定



【リバウンド警戒期間について】

「まん延防止等重点措置」が3月21日(月)で解除となりましたが、東京都では新型コロナウイルスの感染再拡大を防止するため、3月22日(火)から4月24日(日)までを「リバウンド警戒期間」としました。学校におきましては、これまでの感染拡大防止対策を確実に実施していき、現在の教育活動を継続してまいりたいと考えております。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

THE 四中スペシャル

3月5日（土）『THE 四中スペシャル』を地域、保護者の方のご協力を得て、3年ぶりに行うことができました。「タッチラグビー」「ポッチャ体験教室」「紙ヒコーキ」「ブーメラン」「折紙を楽しもう」「マジック」「絵手紙入門」「Habuka's dance studio」「デコパージュしてみよう!」「バルーン・アート」「はじめてのヨガ」「ライフハック」「指カレンダー」「少林寺拳法に学ぶ護身術」「祭りばやしの太鼓に挑戦」以上の15種類、どれを選ぶか悩むぐらいの多岐に渡る講座が設けられました。地域の方の温かい気持ちが伝わる楽しい内容でした。ご協力くださいました皆様に感謝いたします。



ポッチャ体験



Habuka's dance studio



バルーン・アート



祭りばやしの太鼓

生徒会お別れ会

3月15日（火）に生徒会企画による卒業する3年生に感謝と祝福を送る「お別れ会」が行われました。感染対策のため合唱は各学年あらかじめ録画して臨みました。1年生、2年生はそれぞれユーモアたっぷりの出し物で笑いを誘った後、真剣に取り組んだ合唱を上映、3年生からは素晴らしい合唱と学校の伝統を繋ぐメッセージを後輩に向けて送りました。思いのこもった心温まる交流ができ、3年生をお祝いする気持ちが伝わる会になりました。



1年合唱



2年合唱



3年合唱

※ HP用の学校だよりには月予定が掲載されておりません。